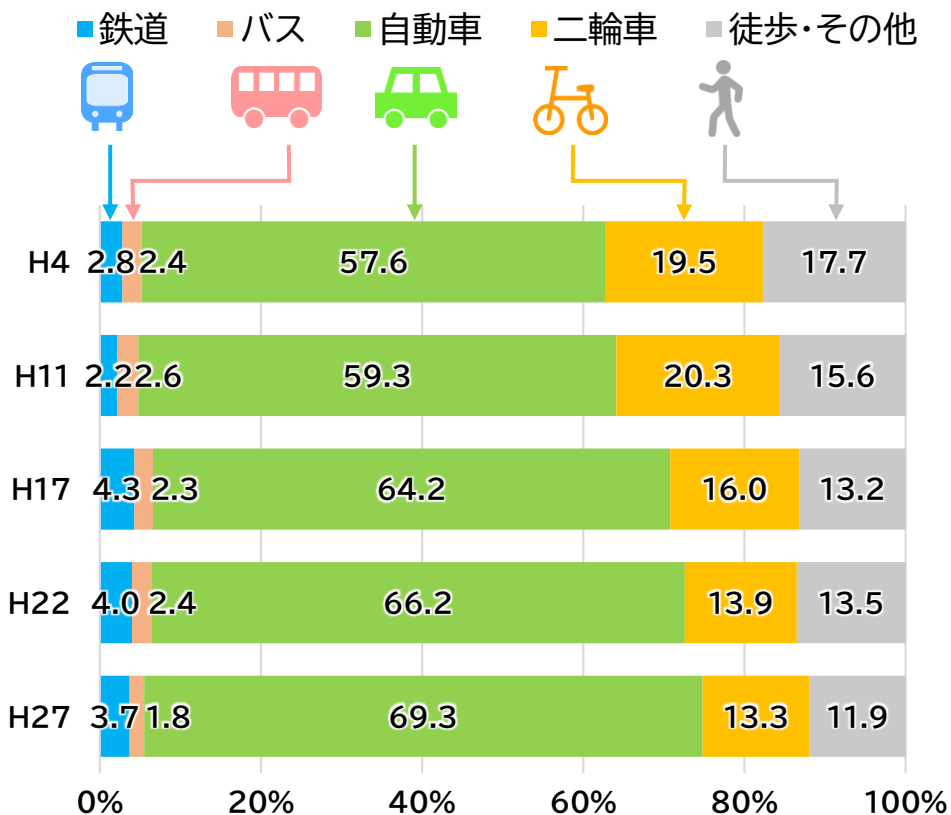


公共交通分担率について

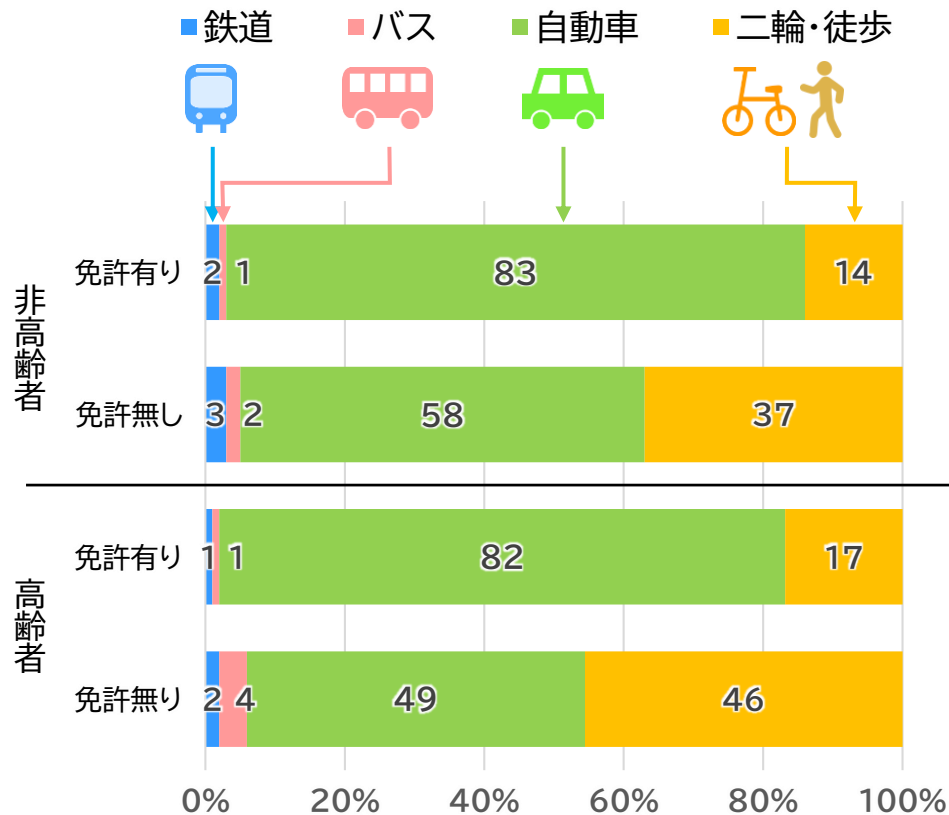
- 自動車の交通手段分担率は、徐々に増加し、平成27年には約7割まで上昇
 - 鉄道・バスなどの公共交通分担率は、5~6%程度の低い水準で推移
 - 免許の有無別交通手段分担率は、免許有りで約8割、免許無しでも約5~6割と高い。
- ⇒ **自動車への依存度が高まっており、年齢・免許の有無に関わらず多くが自動車で移動**

代表交通手段分担率(全目的)の推移



資料: 宇都宮都市圏PT調査、全国都市交通特性調査

免許の有無別交通手段分担率



資料: H26PT調査

公共交通カバー率について

公共交通利用圏域は、**面積比で約95%、人口比で9割超の約47万人をカバー**

⇒ **郊外部の一部や市街地の道路狭隘地区において公共交通空白地域（約5万人）が存在**

公共交通のカバー面積及びカバー人口(R3.3時点)

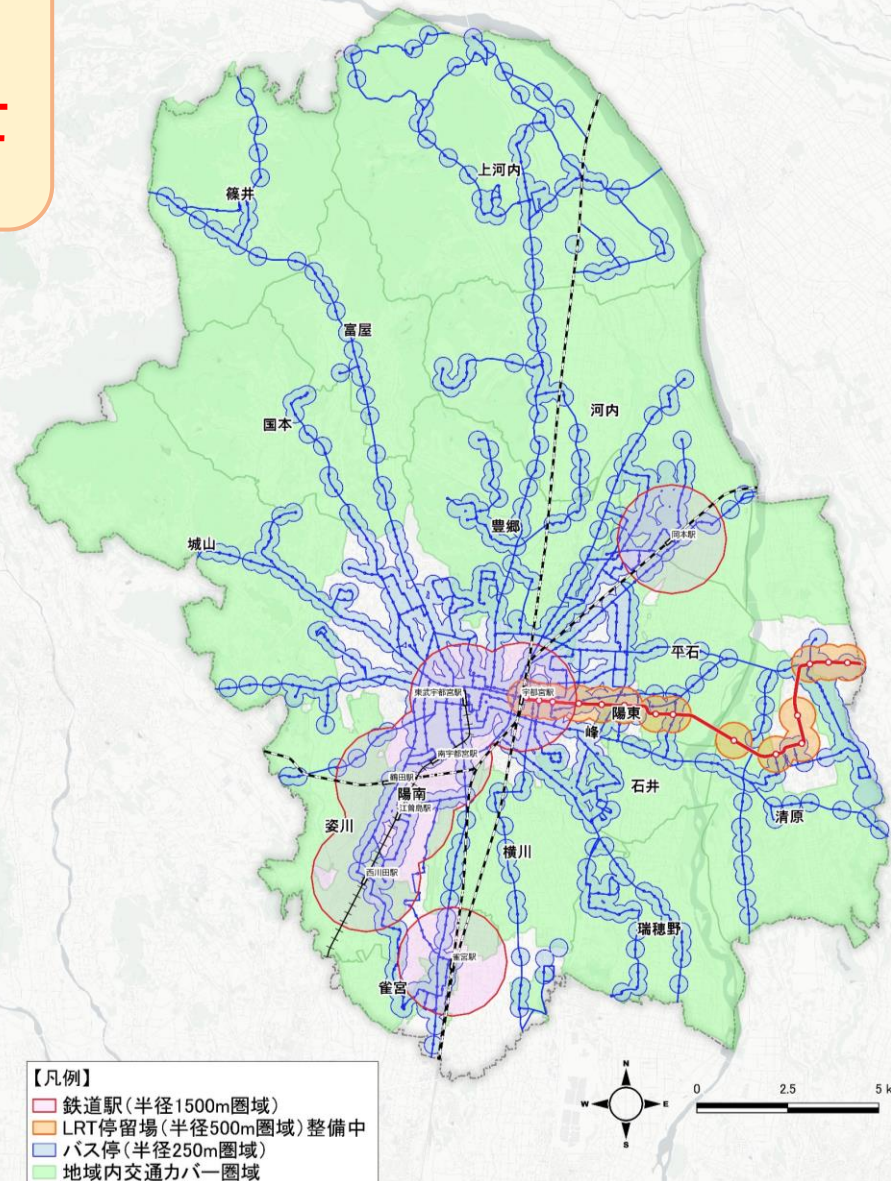
利用圏域区分	カバー面積	面積比	カバー人口	人口比
鉄道	44.8	10.7%	175,993	33.7%
バス	103.3	24.7%	318,348	61.0%
地域内交通	352.6	84.5%	259,867	49.8%
公共交通全体	396.8	95.1%	472,140	90.5%

※ 宇都宮市 市政研究センター算出
 市域面積:417.38km²
 人口:521,716人(人口はR2.10.1時点で算出)

<宇都宮市の公共交通サービスに関する定義>

公共交通空白地域: 鉄道駅から半径1,500m、バス停から半径250m以遠の区域
 公共交通不便地域: 公共交通空白地域ではないがオフピークの公共交通の運行本数が2本/時未滿の公共交通の利用が不便な地域

公共交通カバー圏域



交通 ICカード利用状況等について



- 第2次宇都宮都市交通戦略において目標とする「ICカード決済率90%（令和10年度末）」に向けて、利用率が順調に増加
- totraを活用した高齢者・障がい者福祉サービスや中高生相当世代へのtotra配付などにより、10万枚突破

ICカード決済率（バス）

totra発行枚数

令和3年3月21日～ 路線バスへICカード導入
令和4年9月1日～ 地域内交通へのICカード導入

令和4年7月～
中学生 約14,500人 高校生 約14,500人に配付

R4.3月 (導入から1年後)	R5.1月 (現在)
81.5%	83.0%

R4.3月 (導入から1年後)	R5.1月 (現在)
86,059枚	105,988枚



運賃負担軽減サービスの状況について



- 令和3年6月から開始したバスの「上限運賃制度」は、サービス開始から1年度、利用者数は**57%増加**
- 令和4年9月から開始したバスと地域内交通間の「乗継割引制度」の利用者数は、サービス開始から**毎月、適用件数が徐々に増加**

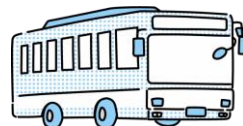
バスの「上限運賃制度」

…日中のバス1回乗車の上限金額を400円とする制度

適用件数(400円以上の区間利用者)

R3.6/1-6/29 (制度導入前)	R4.6/1-6/30 (制度導入から1年後)
345件/日	542件/日

¥400



バス⇔地域内交通の「乗継割引制度」

…バスと地域内交通を乗り継ぐと200円割引する制度

適用件数(バス⇔地域内交通の乗り継ぎ利用者)

9月	10月	11月	12月
110件	142件	162件	158件

割引(-200円)

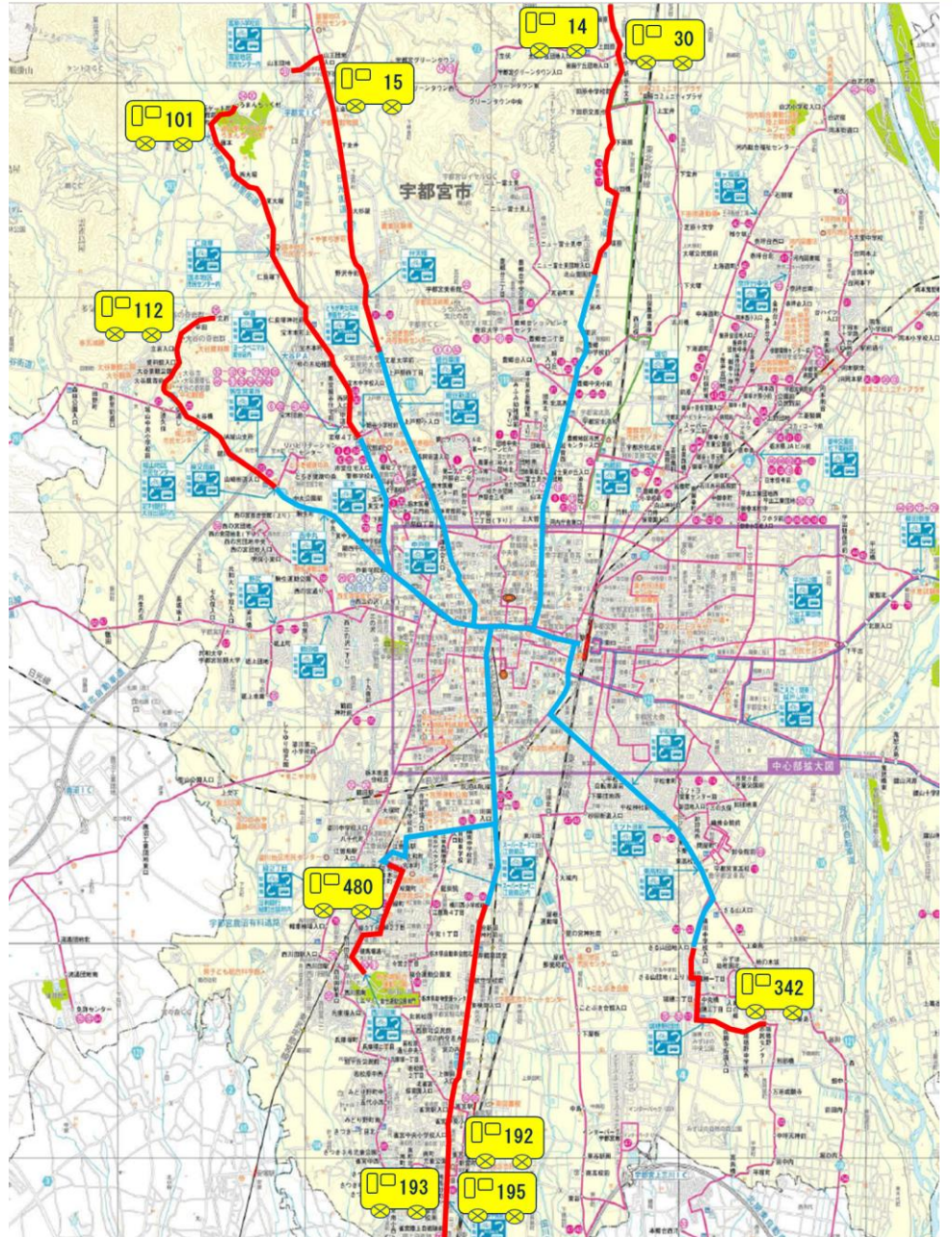


上限運賃制度の利用状況について



【令和3年7月の集計結果】

- 上限運賃制度の適用件数
上位10路線 ⇒ **赤**
うち、400円以内 ⇒ **青**
- 立岩（大谷方面）、仁良塚ろまん（ろまんちっく村）など
⇒ **行先が観光地**の場合は、**休日の利用者が多い**
- 一条江曾島、山王団地など
⇒ **行先が観光地でない**場合は、**休日や平日で利用者数に大差は見られない。**

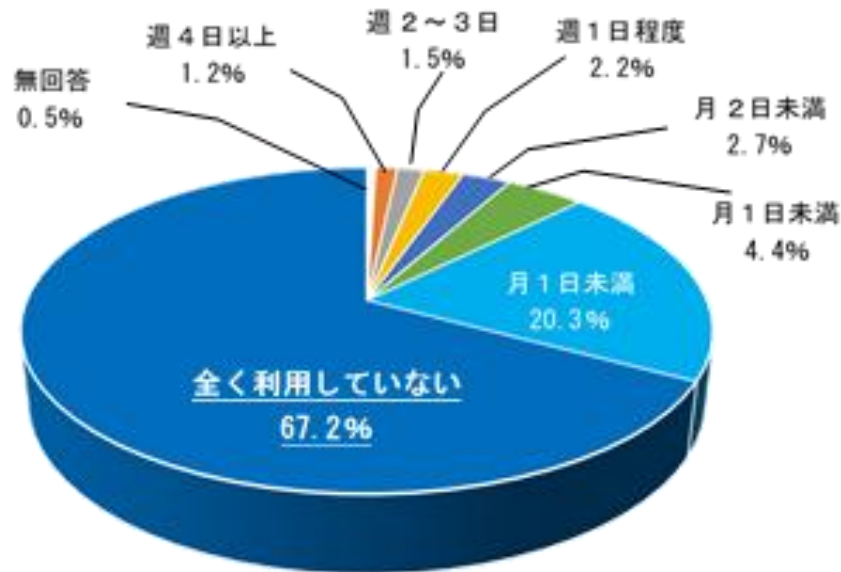


公共交通への満足度・期待度について

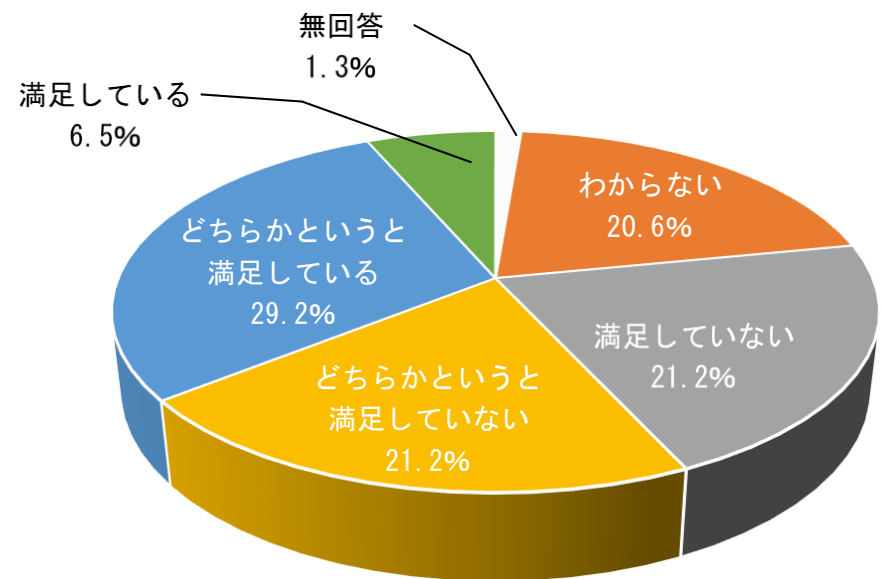


- 市民の公共交通に対する令和3年度世論調査（令和4年2月公表）では、**市民の7割弱が路線バスを「全く利用していない」という状況**
- 公共交通の充実に向けた取組への満足度については、「**どちらかという満足していない**」、「**満足していない**」を合わせると**4割強**であった。

路線バスをどの程度, 利用するか。



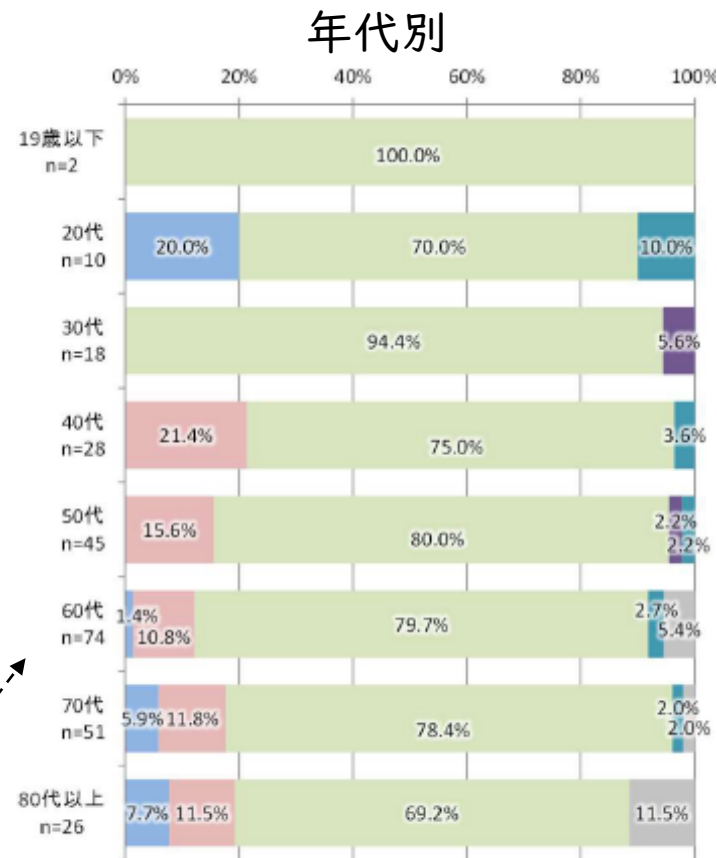
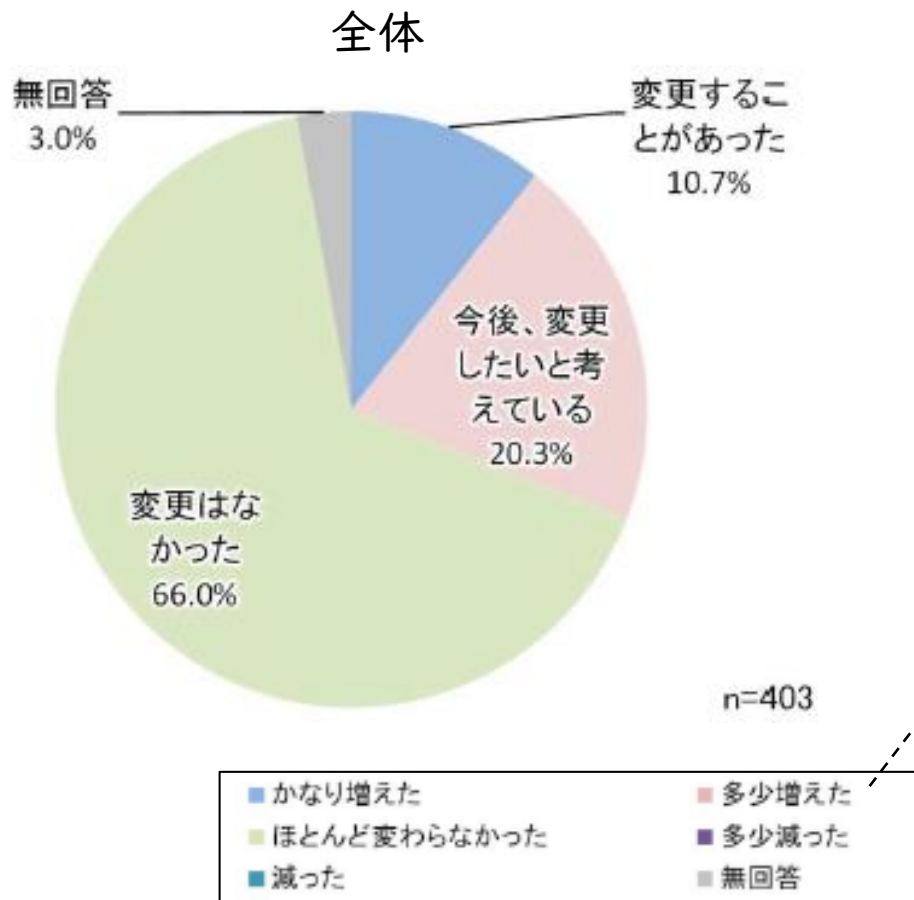
本市の公共交通の充実に向けた取組に満足しているか。



公共交通への満足度・期待度について



○ 令和3年度の「バスの上限運賃制度」導入と合わせて実施した「上限運賃MM」において、「地域別の情報提供」と、アンケートとそのフィードバック等による「双方向のコミュニケーション（TFP）」により、**対象者の3割において、正の行動意識の変容が確認できた一方で、40代以上の年代に正の効果は顕著であるなど、年代別に行動変容の差が生じている。**



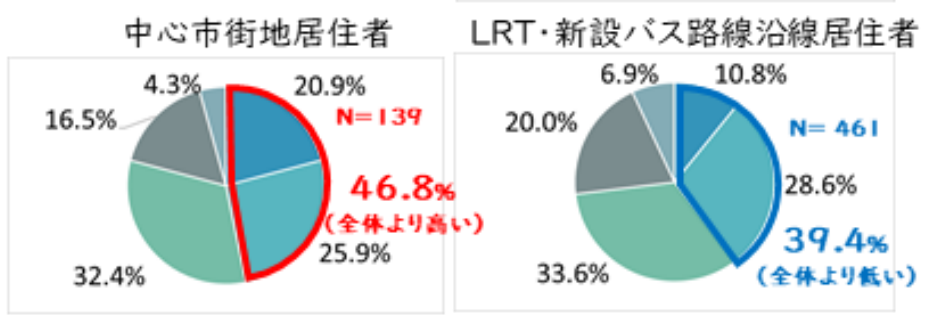
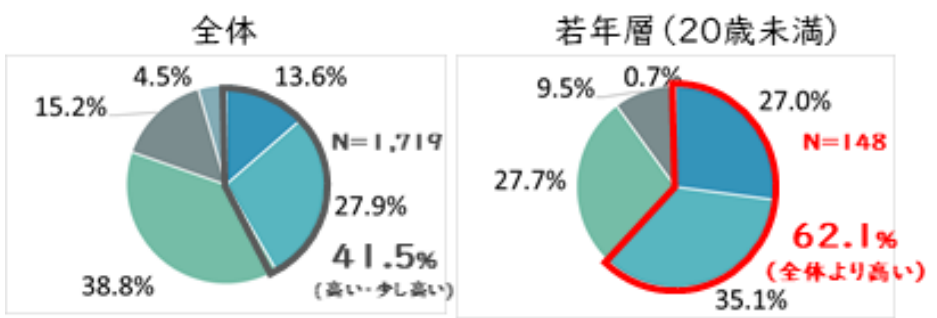
公共交通への満足度・期待度について



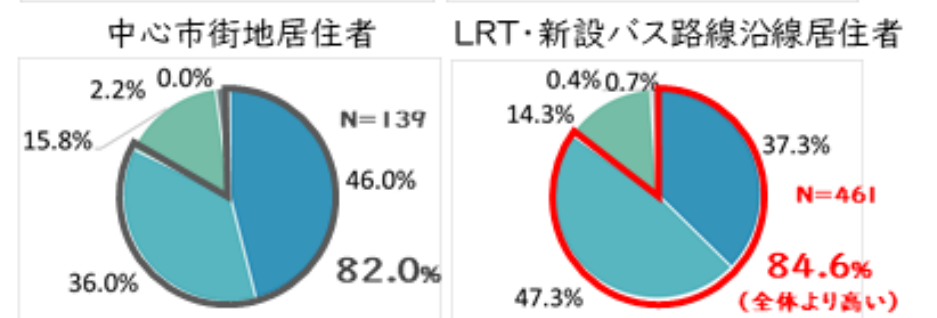
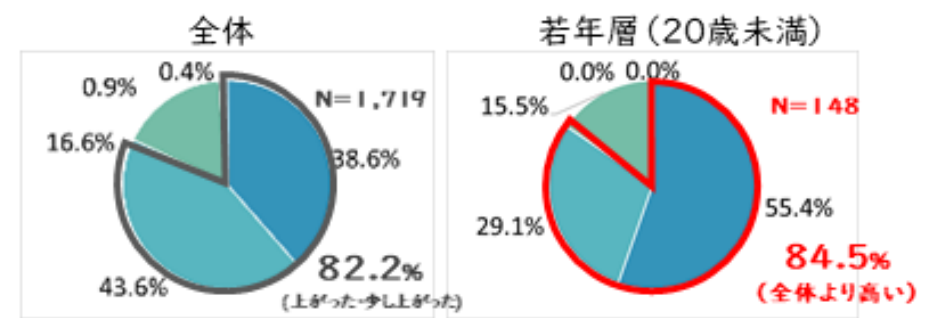
- 市内のイベント等に公共交通PRブースに出展し、1719人にアンケート調査を実施
- 公共交通への満足度は「全体」と比較して、「若年層」、「中心市街地居住者」が高い傾向にあり。
- 公共交通への期待度は「全体」と比較して、「若年層」、「LRT・新設バス路線沿線居住者」が高い傾向にあり。

これまでの宇都宮市の公共交通への満足度は？

これからの宇都宮市の公共交通への期待は？
(PRブースを見て)



■ 高い ■ 少し高い ■ どちらでもない ■ あまり高くない ■ 高くない



■ 上がった ■ 少し上がった ■ どちらでもない ■ 少し下がった ■ 下がった